

報道各位

2025 年 10 月 31 日

株式会社日本能率協会コンサルティング

代表取締役社長 大谷 羊平

JMAC「ものづくりトランスフォーメーション（MzX）研究会」を発足 部分最適から全体最適を目指す日本の製造業の DX 課題解決に向けた提言を実施

株式会社日本能率協会コンサルティング（本社：東京都港区・代表取締役社長：大谷羊平、以下 JMAC）は、日本の製造業の DX を加速させる議論の場として「ものづくりトランスフォーメーション（MzX）研究会」（以下、MzX 研究会）を発足します。インダストリー4.0 や DX というワードが認知され始め製造業においても様々な取り組みがなされてきた一方で、大きな成果につながらない、部分的な取り組みにとどまっている、推進ノウハウの不足というお悩みは依然根強いものがあります。

MzX 研究会は、そうした課題を捉え経済産業省および NEDO 発案、JMAC がその執筆を担当した、「スマートマニファクチャリング構築ガイドライン（2024 年 6 月初版、2025 年 5 月第 2 版）」（以下、SMD ガイドライン）に基づき、日本の製造業の DX 活動を後押しすべく新たに発足するものです。そのポイントは、企業内の取り組みを単機能ではなく部門横断の付加価値の連鎖（チェーン）として捉える事です。ご参加企業の皆様とともに、SMD ガイドラインで提唱している 4 つのマニファクチャリングチェーンを軸に議論をすすめ、情報連鎖のデジタル化による一段階上のプロセス革新の絵を描き、ご参加企業の取り組みに気づきを得ていただくと同時に、産業界への新たな提言も視野に入れた活動を行って参ります。

（SMD ガイドラインの詳細につきましては、以下のリンクをご参照ください。

https://www.nedo.go.jp/library/smart_manufacturing_guideline.html）

■ものづくりトランスフォーメーション研究会（MzX 研究会）概要

【設立の目的】

SMD ガイドラインをベースとして、

1. 各社における「ものづくりトランスフォーメーション」への取り組みをサポート
2. MzX 賞^{（※1）}へのチャレンジを後押し
3. 産業界への新たな提言
4. SMD ガイドラインそのものを常に進化

を実施してまいります。

※1 ものづくりトランスフォーメーション賞（MzX 賞）：一般社団法人日本能率協会（以下、JMA）が創設。2026 年 1 月より応募開始、2027 年 2 月に受賞者発表（[参考リリース](#)）

【研究会概要】

初年度：食品製造業を中心に議論

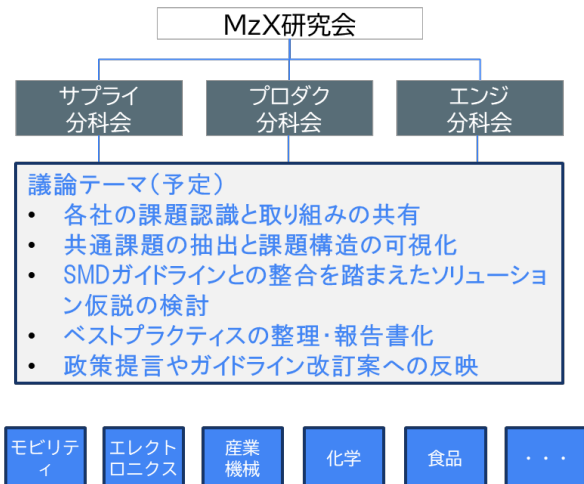
対象チェーン：エンジニアリングチェーン

プロダクションチェーン

サプライチェーン

3つを軸に初年度は議論

議論形式：5～6社で構成される3つの分科会を設置



【各分科会の議論・研究テーマ(案)】

分科会	研究テーマ(案)
エンジニアリングチェーン	研究所から企画～量産移行までのあるべき姿と主な課題・デジタル技術適用 - 食品という装置産業に適合したエンジニアリングチェーンのあり方はほとんど論じられていなかった。 - マーケティング・短期間の新商品投入・装置制約といった課題を横断的に議論。
プロダクションチェーン	スマートファクトリー化における共通性の高い変革シナリオの設定と解決策の具体化 検討結果に基づくプロジェクト推進により、変革の実現に繋がるとともに、「ものづくりトランスフォーメーション賞」の獲得を目指す。
サプライチェーン	食品業界におけるスマートサプライチェーン構築に向けた課題整理と改革のポイント・進め方 国内の人口減少により需要減少が想定される中で、スピーディーで効率的なサプライチェーン構築がより一層求められる中で、実態としてデジタル化の取り組みが進みきっていない。課題解決に向けた方策を議論してブレークスルーを目指す。

【初年度スケジュール】

期間：2026年1月～2026年11月

隔月全6回／各分科会ごとに実施（6回目は3分科会合同）

会場：日本能率協会ビル（東京都港区芝公園）または、八重洲サテライトオフィス Publica

分科会	各回のアジェンダ
第 1 回 (26/1)	イントロダクション
第 2 回 (26/3)	重点課題領域設定
第 3 回 (26/5)	変革課題領域におけるデジタル活用課題の検討
第 4 回 (26/7)	変革課題における当該業界としての重点課題領域の あるべき姿と重点課題設定（提言）
第 5 回 (26/9)	重点課題別の解決の方向性（提言）
第 6 回 (26/11)	研究結果取り纏め

■スマートマニュファクチャリング構築ガイドライン（SMD ガイドライン）概要

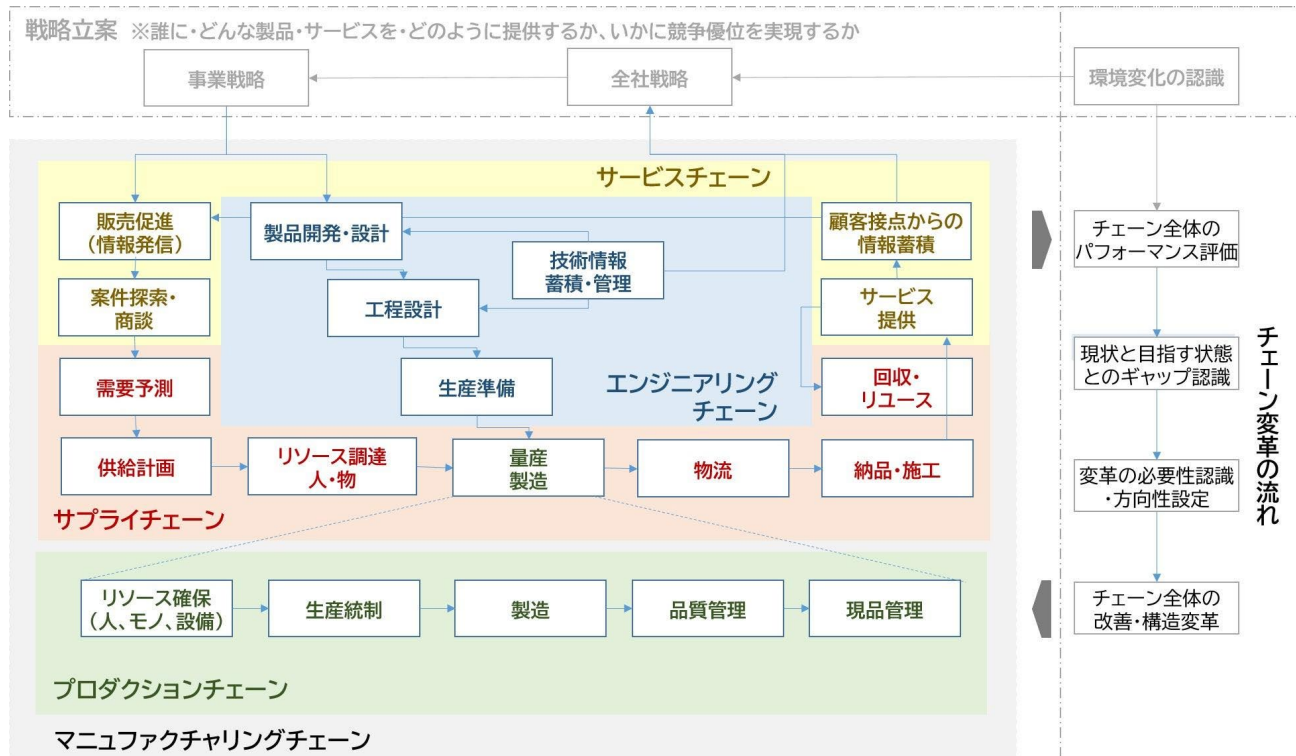
本 MzX 研究会のベースになっている「スマートマニュファクチャリング構築ガイドライン（SMD ガイドライン）」は、経済産業省（METI）製造産業局と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が本ガイドラインの策定を共同で企画推進し、JMAC が有するものづくり企業改革のノウハウをもとに 2024 年 6 月に初版、2025 年 5 月に第 2 版を作成（執筆）。

SMD ガイドラインでは、4 つのマニュファクチャリングチェーンを提唱。

参考リリース：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000031.000080217.html>

【マニュファクチャリングチェーン】

エンジニアリング チェーン	製品・工程設計を中心とした技術と情報をモノづくり各機能に訴求する連鎖
サプライ チェーン	最終需要者に商品供給するための、材料調達から商品納入までの「もの」を中心とした業務連鎖
プロダクション チェーン	自社の製造リソース（人、設備、工法、ノウハウ）により、原材料を加工し商品として仕上げる一連の工程連鎖
サービス チェーン	提供サービスの顧客への認知と品質の魅力の向上、及び納入後の商品価値を維持向上させるための『サービス』を中心とした業務連鎖



SMD ガイドライン_マニファクチャリングチェーン概念図

《株式会社日本能率協会コンサルティング 概要》

社名： 株式会社日本能率協会コンサルティング (JMAC)

所在地： 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 日本能率協会ビル 7 階

TEL: 03-4531-4300 (代表) FAX: 03-4531-4301 <https://www.jmac.co.jp>

創業： 1942 年 4 月 1 日 (設立 1980 年)

資本金： 2 億 5 千万

社員数： 約 370 名

業務内容： 経営コンサルティング業。戦略、マーケティング&セールス、R&D、生産、サプライチェーン、組織・人事、BPR、IT ビジネスなど、クロスファンクショナルなコンサルティングサービスを展開。

■ 広報・取材・その他に関するお問合せ先： ビジネスイノベーション本部 広報担当： 豊島 涼子

TEL: 03-4531-4307 携帯： 080-9356-5138 E-mail: ryoko_toyoshima@jmac.co.jp



豊島宛メール

以上